



株式会社ナカオ
ただおかけい いち
忠岡慶一さん
しものせき しゅうしん
下関市出身

Q この職業を選んだの？

私が小学生の頃、ミニ四駆がはやった時期がありました。ミニ四駆自体は市販のキット品ですが、性能を良くするために、モーターやタイヤなどをカスタマイズ、さらには、独自に車体の形状を加工することに夢中でした。「ものづくりに関わる仕事に就きたい」と思ったきっかけでした。

そして就職活動の時、地元下関に「アルミ合金製はしご」を日本で初めて作った会社が、あったことに刺激され、「私も世の中に無い、便利なモノを生み出してみたい」と思い、工業デザイナー（設計士）を目指しました。

Q 仕事をしているの？

私の仕事は、お客さまの要望を聞き取り、各業界の規格に準じた安全かつ高品質な製品を提案させていただくことから始まります。机上の設計でイメージができない場合には、お客さまの作業現場を訪問し、必要な情報を集めることもあります。その上で、素材や部品を選定し、頭の中心のイメージをCADシステムで図面化し、設計します。出来上がった試作品の強度試験や検査を何度も繰り返し、完成精度を上げていきます。製品が全国各地へ出荷されるすべての作業に、責任を持って携わります。

仕事図鑑



このページは、小・中学生、高校生を対象に市内で働く人・職業を紹介しています。先輩たちのメッセージを参考に、未来の自分を探してみませんか。



①製造工場内の様子。②電子センサーを取り付けて、外圧による目に見えない歪みを検出します。③CADシステムで設計します。

★ **どんなときにやりがいを感じるの？**

自分が考えたモノが形となることにやりがいを感じます。また、ご注文をいただいたお客さまから「ナカオに頼んで良かった！」とお言葉をいただいた瞬間、最高の気持ちになります。

その他にも、自社製品がテレビ局の舞台裏に置いてあるのを発見したり、道路の工事現場やすれ違う車に搭載されているのを見るたびに、うれしく思います。

★ **工業デザイナーを目指す君へメッセージ**

設計の仕事は、正直地味で根気がいる仕事だと思います。でも、自分が設計した製品が、何十年先も人や社会のために役に立ち続けると思うと、とても誇らしく思います。

ものづくりの仕事に少しでも興味のある方は、ぜひ弊社をのぞいてみてください。

【取材協力】
株式会社ナカオ
(☎ 287-11231)